

ふしょうっこ日記

令和8年2月4日

2年 国語科の学習

今日は、2年生の国語科の研究授業を行いました。

「スーホの白い馬」という物語の面白さを語り合う学習でした。

子供たちから出てきたキーワードをもとに、今日のめあてを設定しました。その後、キーワードを意識して、速読をしました。はきはきと、しかもよいスピードで読んでいく姿に感心しました。そして、考えたことを話し始めました。とぎれることなく、考えが繋がっていきました。子供たちの発表から、「スーホの白い馬」の物語を深く読み込んでいることが伝わってきました。担任は、子供たちの発表を受けて、さらに子供たちが考えたくなるような発問、考えることが明確になる発問をしていました。さすが、国語科を研究している教員だと感じました。

言葉にしっかりと向き合いながら学びを積み重ねていくと、子供たちの言語力が豊かに育っていくと感じました。また、言葉を丁寧に使う経験の積み重ねが、伝える力や言葉を理解する力を確かに伸ばしていくとも感じました。子供の頃に今日のような学習を積み重ね経験していたら、この日記ももっと上手に表現できたのではないかと思います。

